

2016年

4月

中国四国農政局

愛媛支局

News Letter

地元と世界へ貢献できるリーダーの育成に向けて ～愛媛大学農学部新体制でスタート～

愛媛大学農学部は、受験生の皆さんが、自分に適した専門分野を選択しやすく、かつ、それぞれの才能を最大限に発揮してもらうことを目的として、平成28年4月より、学部3学科の新体制となりました。

新しい3つの学科では「食料・生命・環境」の各視点から独自のカリキュラムを提供し、様々な実験・実習によって、最新の農業技術、食と健康・環境に関する技術や分析手法などを習得できます。また、県内の附属施設などで、里・山・海の実習を通して農林水産業の実情を学びます。

例えば、食料生産学科では、環境保全型農業から植物工場による植物生産まで様々な形態の食料生産に必要な広範な知識や技術を身につけるとともに、ICTや最先端のセンサー技術を利用したスマートアグリ



愛媛大学農学部キャンパス



植物工場実習

実現を目指した教育研究を行います。生命機能学科では、有機化合物、核酸やタンパク質などの生体高分子、さらには細胞についての基礎的研究から、バイオテクノロジーを駆使した革新的技術の創出、機能性食品や医薬品の開発などを学び、食と健康のエキスパートを養成します。生産環境学科では、山から海に至る広範囲の環境を創造・修復・保全・管理・利用するための土・水・生態系などに関する高度な科学知識と技術を修得します。さらに、修士課程までの6年一貫教育の3特別コース（知能的食料生産科学、健康機能栄養科学、水環境再生科学）を設置し、そこでは主に研究者を目指す学生さんを育てます。

杉森農学部長は、「県内企業・団体・行政機関へのインターンシップに力を入れ、地域と連携し、地元への就職を促進させ、地元へ貢献できる地域リーダーを育てたい。また、大学院では、世界で活躍できる沢山の学生を育てるとともに、先端技術の修得に意欲をもつ社会人など多様な学生も受け入れていきたい」と、熱い思いを語られました。

現在、人類は地球という限られた空間の中、食料・生命・環境に関わる様々な問題に直面しています。愛媛大学農学部ではこれらの諸問題を解決するため、最先端の研究が行われており、農林水産業だけにとどまらない、社会への大きな貢献が期待されています。



多彩な学生実験科目

ゆずの果皮を活用した精油で販路開拓を目指す ～ J A えひめ南～

えひめ南農業協同組合（J A えひめ南）は、「ゆずの搾汁後の果皮残さを活用した加工品（精油）の開発、製造及び販路開拓」について、2月29日、六次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画を農林水産大臣から認定されました。

J A えひめ南では、従前からゆずを活用し、ゆず果汁や搾汁後の果皮を活用した加工品の製造・販売を行うなど、組合員の所得向上に努めてきましたが、近年、全国的な過剰生産による多産地間競争が激化し、販売状況は年々厳しくなっております。また、果皮残さの大部分は農協の堆肥センターで堆肥原料として利用されており、果皮の加工や販売は一部にとどまっておりました。



ゆず果皮残さから製造した精油



ゆず果皮を使用「ゆずピー」



ゆず果汁・果皮を使用「ゆず茶」

今回の事業計画では、化学肥料、化学農薬、除草剤を一切使用しないで栽培したゆずを、J A えひめ南自ら整備する精油施設で、ゆず果皮残さから付加価値の高い精油（エッセンシャルオイル）を製造し、販路開拓を行います。この取組により、組合員の所得向上を図ると共に、生産面積の拡大、耕作放棄地の減少及び新たな雇用の創出が図られることが期待されています。

インフォメーション 飼料用米多収コンテストが開催されます。

飼料用米生産農家の生産技術の向上を目指し、多収を実現している先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する「飼料用米多収日本一」が開催されます。

【参加できる方】

- 平成28年産の飼料用米の生産を
- ・多収品種(知事特認含む)で取り組む方
- ・生産面積1ha以上で取り組む方
- ・生産コスト低減等に取り組む方

【応募先及びお問い合わせ窓口】

- ・事務局 中国四国農政局生産部生産振興課
- ・住所 〒700-8532
岡山市北区下石井1-4-1
(岡山第2合同庁舎)
- ・電話番号 086-224-9411

【開催スケジュール】

- ・平成28年5月2日 応募開始
- ・平成28年6月30日 応募締切
- ・平成29年1月末 確定収量の報告
- ・平成29年2月 審査
- ・平成29年3月 表彰式(東京都内)

日本一には
農林水産大臣賞
が授与されます

【主催】(一社)日本飼料用米振興協会
農林水産省

編集:中国四国農政局 愛媛支局

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL (089)932-1177 FAX(089)932-1872 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>